



ロータリーは機会の扉を開く

創	立	昭和32年4月19日
会	長	長谷川博章
会長エレクト	森川善隆	
副	会	長 平田博也
幹	事	松井大典
公共イメージ	辻田真海	



2020-21年度 地区スローガン  
**ロータリーの原点に戻る**  
誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

<b>事務局 (例会場)</b>	<b>例会日</b>
檀原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F	金曜日
TEL/0744-28-2801 (直通)	12時30分~13時30分
FAX/0744-28-2802	
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp	
TEL/0744-28-6636 (ホテル)	

Vol. 64 No. 15 (2020-21)  
2020(令和2)年12月4日発行

## 12月は、「疾病予防と治療月間」 (Disease Prevention and Treatment Month)です。

### 第3074回例会報告書

2020 (令和2) 年 11月 27日

司会	副SAA・豊田博樹会員
R.song	我等の集い
ソング・リーダー	吉川弘晃会員

#### ゲ ス ト

卓話講師：今井町並保存整備事務所  
所長補佐 中川智之氏  
講師随員：檀原市教育委員会  
教育長 深田展巧氏  
委員 伊藤 歩氏  
今井町並保存整備事務所  
所長 楠原章央氏  
新入予定会員：関 将之氏

#### 出席報告

会員 47名		
(11/27)	出席者 26名	出席率 61.90%
(11/6 補正)	” 34名	” 80.95%

#### ニコニコ箱

- ◎本日、卓話担当です。ご静聴よろしくお願いします。  
.....平田博也会員
- ◎チョット感ずることがあったので。  
.....増田善昭会員
- ◎誕生日お祝い  
豊田博樹会員 (11/6)
- ◎結婚記念日お祝い  
永田晶三会員 (11/8)
- ◎入会お祝い  
永田晶三会員 (9月入会、33年)

#### 会長挨拶

- 皆様こんにちは。本日例会見学にお越し頂いた関将之氏は、お父様は元会員の関 義清様で、先程オリエンテーションを終え、来月からご入会頂くのでよろしくお願ひしたい。
- 新型コロナウイルスの感染が拡大しており、自治体によっては時短営業の要請などがなされている。来月11日に望年親睦家族会の開催を予定しているが、いろいろな状況を考えながら、場合によっては若干の変更や中止になる可能性もあるが、開催に向けて親睦活動委員会がいろいろと計画をして頂いているので、できるだけ早く判断をし、皆様にご連絡させて頂きたいと考えている。

11月23日に檀原神宮での新嘗祭に、例年通り参列する予定だったが、今回は関係者のみでの開催となり、一般の参列は中止となった。

当クラブはホテルでなんとか例会を継続して開催させて頂いているが、日々刻々と状況が変わっている中で、それでも例会は続けていきたいと考えているので、開催の折にはできるだけ多くの方にご出席頂きたい。本日のオリエンテーションでも野口会員から関氏へ、やはり出席するということがロータリーの基本理念であるとお伝え頂いたので、私自身もしっかりと考えて、皆様方もせっかくロータリーに入っておられるので、出席するという事を念頭においてご参加頂くことをお願い申し上げる。

最近、朝晩も寒くなってきた。朝5時半ごろから1時間歩くことを4ヶ月ほど続けているが、その甲斐あって6kgほど痩せることができたが、寒さが身に染みてきた。コロナだけでなく風邪などひかないようご健康にはご留意頂き、来月の例会でもお会いしたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

#### 幹事報告

△次週12月4日(金)例会前の12:15から年次総会を開催する。ご出席頂くようよろしくお願ひしたい。



## 卓 話

担当：平田博也会員

講師：今井町並保存整備事務所  
所長補佐 中川智之氏



### 「今井町のまちづくり」

今井町の歴史ですが、当初は興福寺の荘園という位置付けから始まり、天文年間(室町時代)(1532~1555)に石山本願寺(大阪市)の一族であった今井兵部が、称念寺を開いた時に遡ります。以降、寺内町として発展しましたが、織田信長による一向宗弾圧が始まると、今井町は周囲に「壕」をつくり、「土塁」を築いて抵抗をしましたが、天正3年(安土桃山時代)(1575)に明智光秀のとりなしにより、武装を解除し、信長に降ることになりました。

その後、今井町では、活発な商業活動がすすめられ、当時、自由都市として栄えた大阪の堺と並んで、「海の堺、陸の今井」と呼ばれるようになりました。江戸時代になり1600年代後半頃、幕府直轄の天領となりましたが、両替商や肥料商、造り酒屋、塩屋などといった「株仲間」が発達し、俗に「大和の金は今井に七分」と言われるまでに繁栄し、藩札(当時は、郡山藩)と同じ価値を持つ「今井札」も流通しました。このような巨大な財力を持つようになったことから、今井町は、幕府から「自治的特権」が与えられました。明治維新後、その賑わいは少しずつ無くなりますが、その代わりに落ち着いた雰囲気伝える町として、現在に至っています。

まちの外周の環濠は、昭和30年頃に埋め立てられ、現在は、道路となっていますが、まちは中世の町割りをそのまま残し、6割から7割の建物が伝統的様式の町家となっています。

今井町が歴史的な姿を残す町として、確認されたのは昭和30年頃で、その後、東京大学、奈良女子大学、国立奈良文化財研究所などによる調査が繰り返し行われ、今井町を町全体で保存するという考え方が、昭和35年頃にすでに芽生えていたといわれています。伝建地区(伝統的建造物群保存地区)の制度の創設は、昭和50年のことですから、伝建地区は、ここ、今井町を意識してつくられた制度であるというのあながち間違っていないともいわれています。しかしながら、今井町が(重要)伝統的建造物群保存地区に指定されたのは、平成5年の12月です。地区内には、実際に多くの方が住まいされており、町全体に規制が及ぶことなどについての理解や、地区内を縦貫するように計画されていた都市計画道路の抜本的な見直しを行う必要があったことなど、様々な問題により期間を要したということです。街路事業、下水道事業などから始め、

平成5年から行っている、伝統的建造物群保存事業(建物の修理・修景)、街なみ環境整備事業(電線類地中化・道路美化)は現在も継続して事業を進めており、今では、地区内のほとんどの方々にご理解をいただき、積極的な保存・まちづくり活動などを地域住民の方々と協働で進めているところです。これらの取り組みにより近年では今井町に魅力を感じ移住される方や、町家の空き家をお洒落な店舗(カフェ等)として活用される事例も増加傾向にあり、まちの賑わいにも繋がっています。

伝建地区のエリアですが、環濠の内側がそのエリアとなっており、東西約600m、南北310m、面積にしまして、約17.4haの規模となっています。全建物数は、1500棟弱で、伝統的建造物(伝建物)については、現在は501件あり、全国の重伝建地区120地区の中でも、最も多い地区となっています。伝統的建造物は、重厚な本瓦葺きの屋根を持つ「ひらや」または、「つし2階」の町家が、ほぼ、軒を連ねています。その2階の壁面には、意匠を凝らした「むしこ窓」や「家紋」などの装飾が、施されています。また、地区内には、重要文化財が9件(称念寺本堂、今西家、豊田家、中橋家、上田家、音村家、旧米谷家、河合家、高木家)、県指定文化財が2件(吉村家、山尾家、旧高市郡教育博物館)、市指定文化財が6件あります。

#### 【例会ご案内】

12月11日(金)《第2例会》

望年親睦家族会

担当：親睦活動委員会

12月18日(金)《第3例会》

「日本とアメリカの選挙制度について

『一選挙管理委員の想うところ』

担当：増田善昭会員

12月25日(金)・1月1日(金)

休会

1月8日(金)《第1例会》

新年夜間例会

担当：SAA

1月15日(金)《第2例会》

「ロータリーソングを元気に歌いましょう」

Soul Create Music 福田智子氏

担当：松井大典会員

#### 【同好会】

書道同好会

12月4日(金)・12月18日(金)

午後2時~ 於：4階 楓の間

#### 【RAC例会】

[榎原オークホテルにて、午後7時30分~9時]

12月16日(水)《第1例会》

海外研修を学ぶ例会

12月23日(水)《第2例会》

クリスマス例会

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。